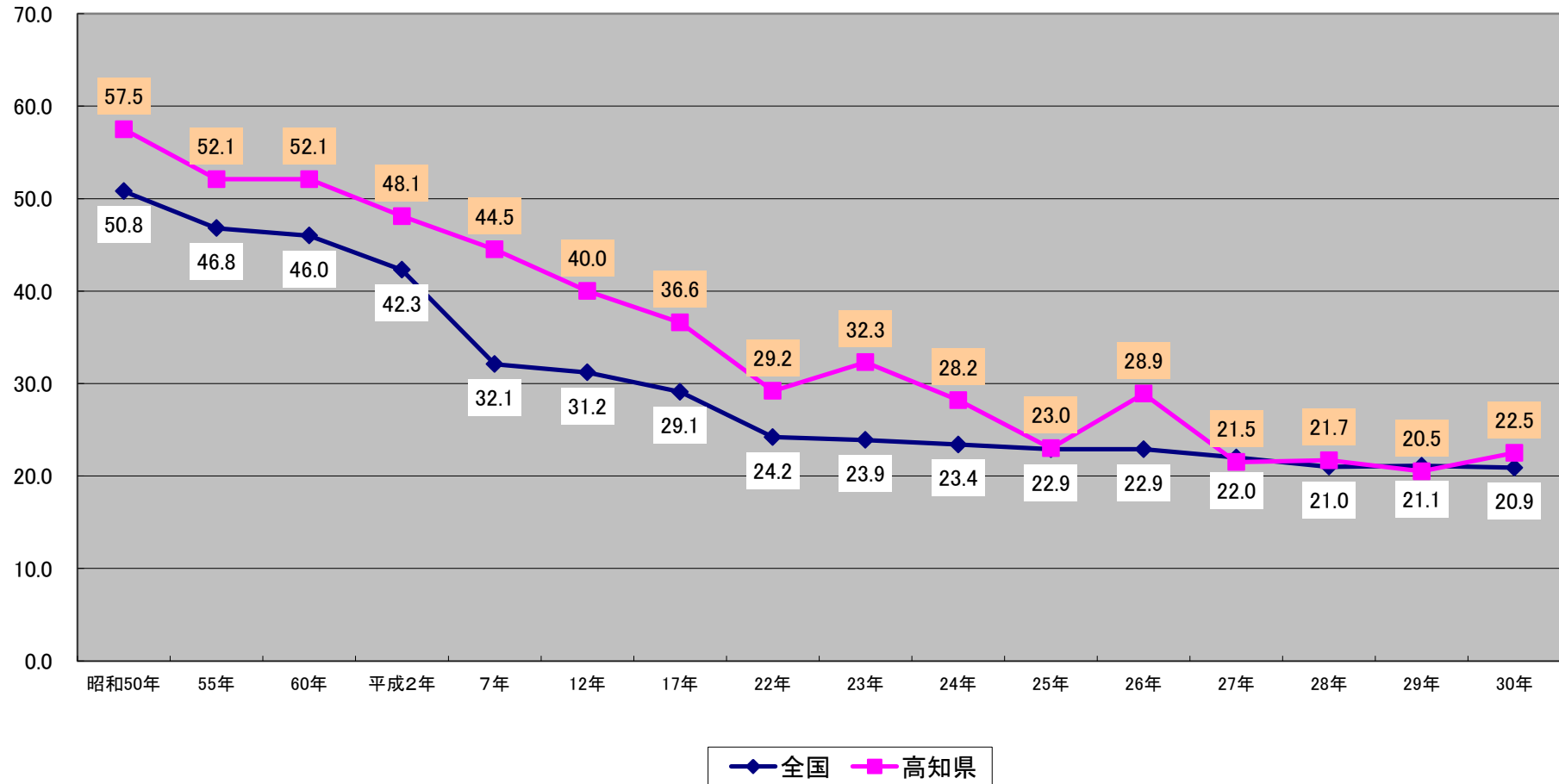


## 死産率の推移

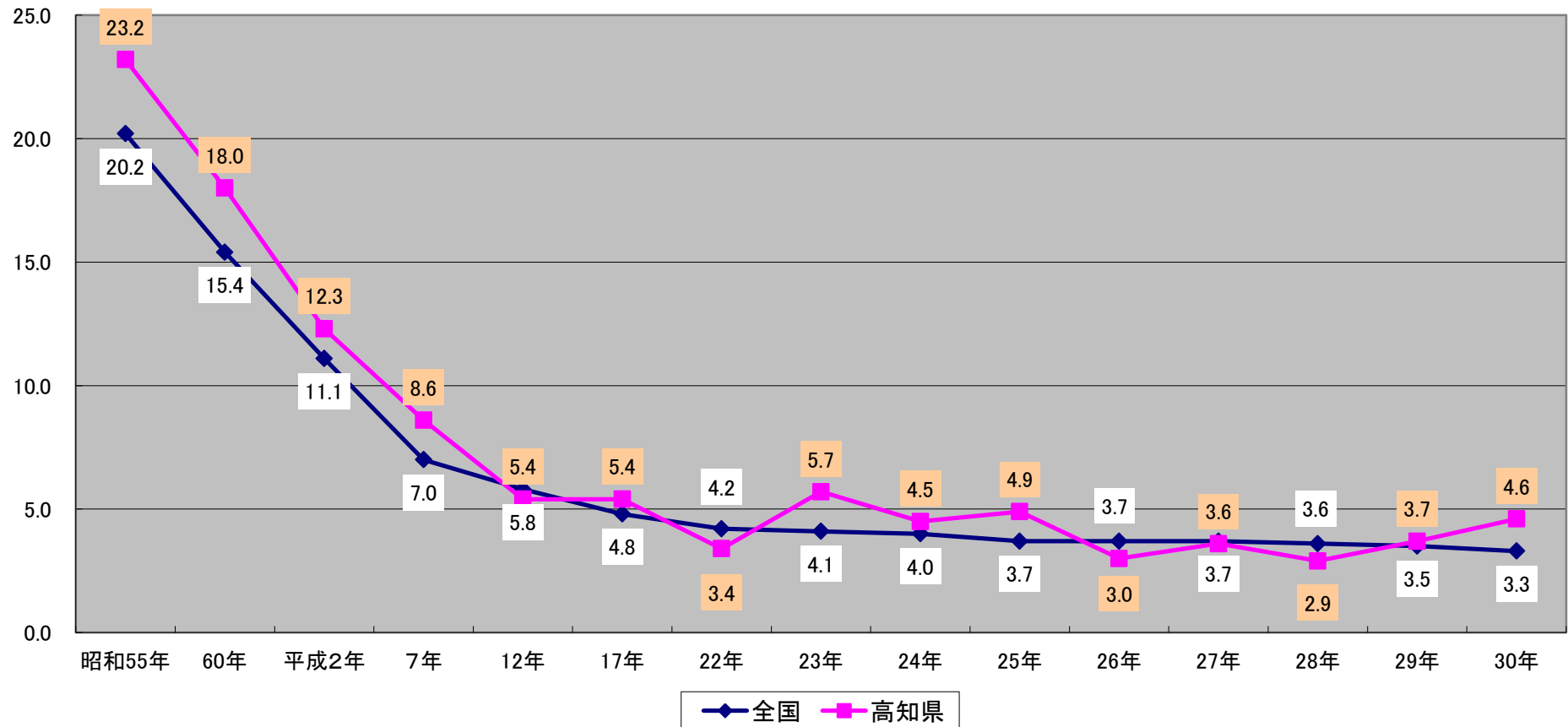
(出産千対) 死産率は、全国・本県ともに減少してきたが、本県は平成22年から23年、25年から26年にかけて増加した。  
本県の死産率は全国より高い割合で推移しており、ここ数年は程同じ水準となっていたが平成30年には増加に転じている。



資料：厚生労働省「人口動態調査」による。

## 周産期死亡率の推移

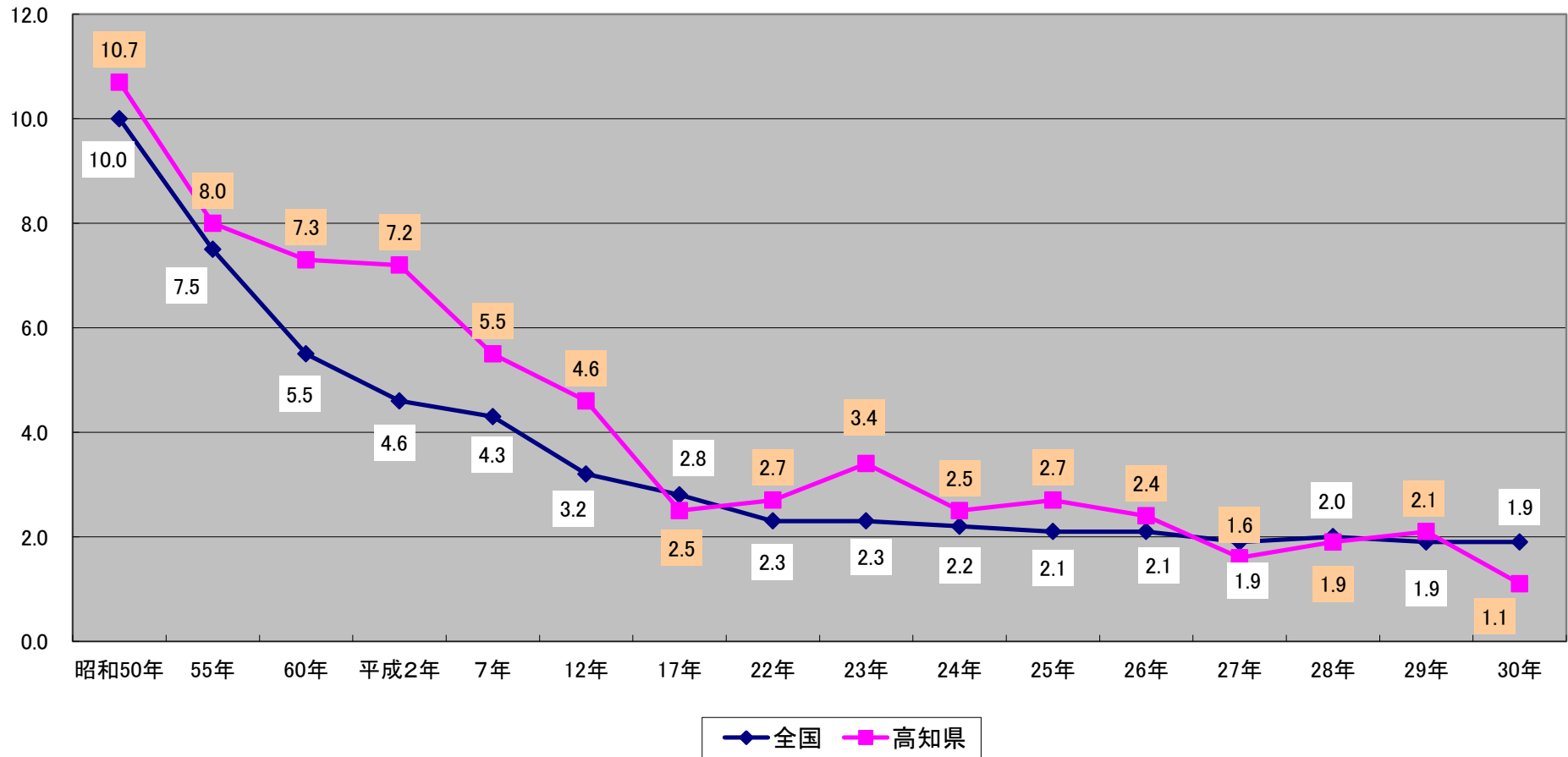
周産期死亡率は、全国、本県ともに減少傾向にあり、平成26年からは全国を下回っていたが平成29年度から増加し、全国を上回った。  
(出生千対)



資料:厚生労働省「人口動態統計」による。周産期死亡率は、妊娠22週以後の死産率と早期新生児(生後1週未満)の死亡率を合わせたもの。

## 乳児死亡率の推移

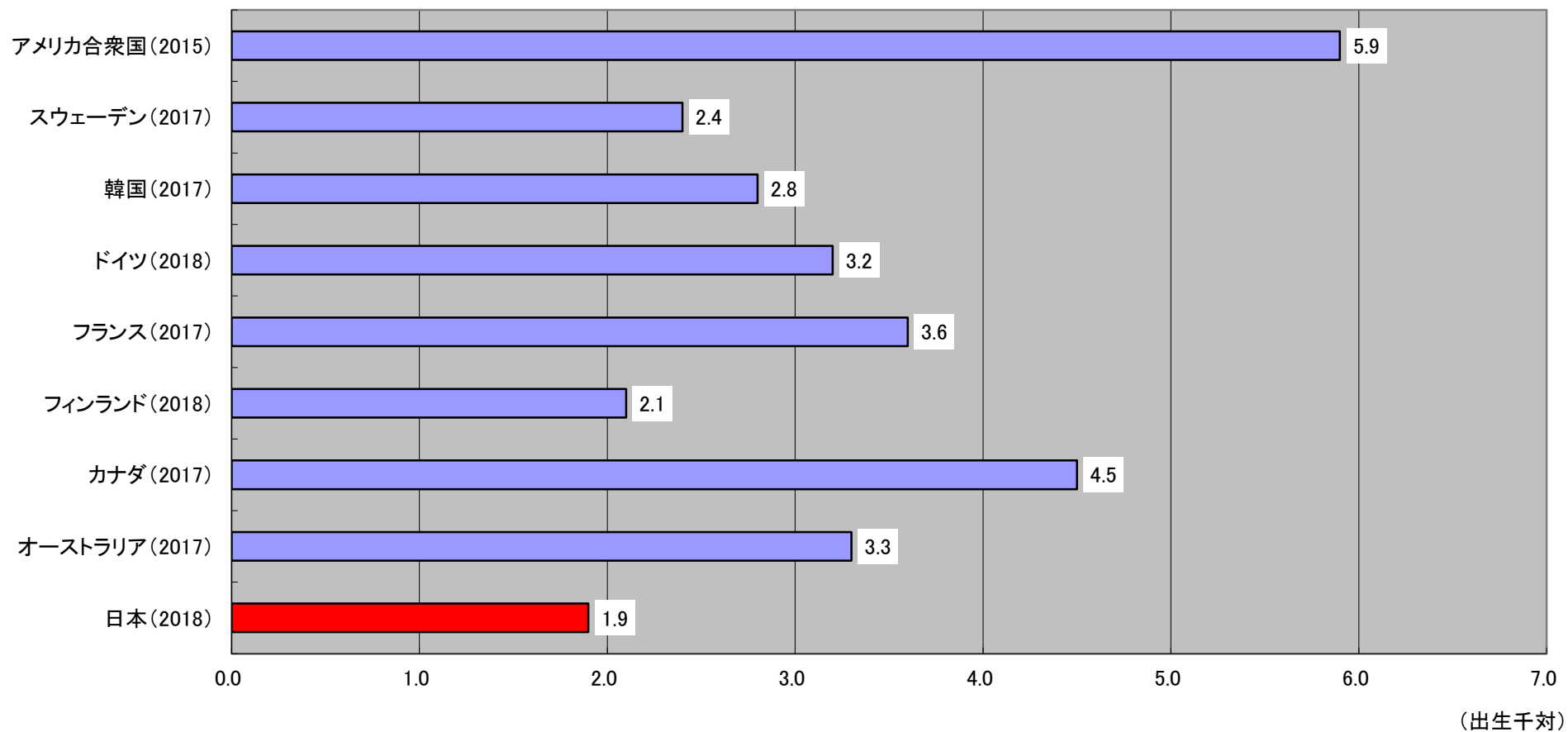
(出生千対) 全国・高知県ともに乳児死亡率は減少傾向にある。本県は概ね全国よりも高い割合で推移していたが、平成30年は全国水準を大きく下回った。



厚生労働省「人口動態統計」による。

## 主要国の乳児死亡率

我が国の乳幼児死亡率は1.9で、主要国の中でも低い水準にある。

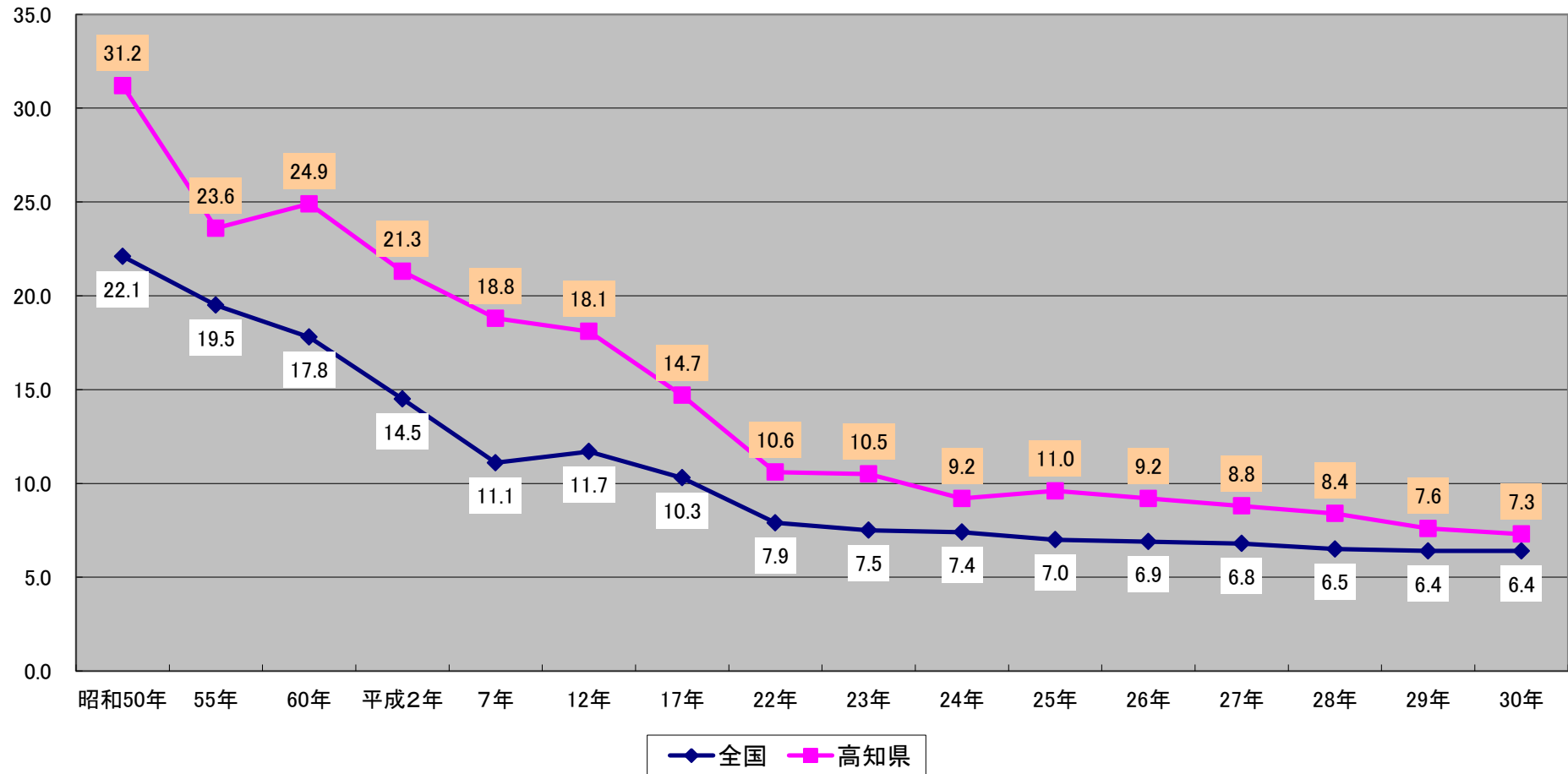


資料: UN, Population and Vital Statistics Report, Series A (オンライン版)による。(例年は「国立社会保障・人口問題研究所」の資料より。) 日本は、厚生労働省政策統括官(統計・情報政策担当)『人口動態統計』による。乳児死亡率は、出生数1,000に対する0歳死亡数の比率。

15～49歳  
女子人口  
(千対)

## 人工妊娠中絶実施率の推移

人工妊娠中絶実施率は、全国・本県ともに減少傾向であるが、本県は全国よりも高い率で推移している。

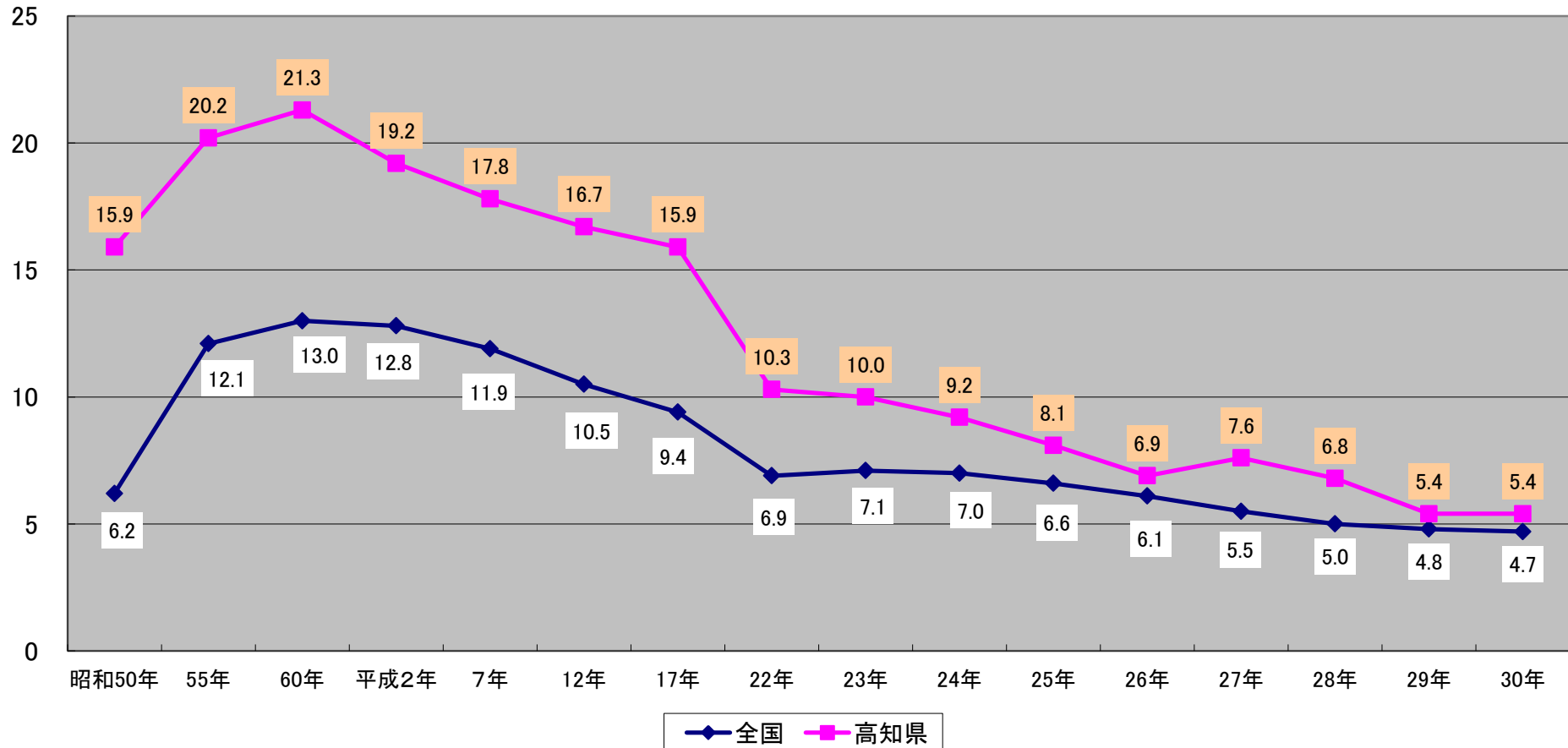


資料：厚生労働省「衛生行政報告例」による。15歳～49歳の女子を対象として算出。

15～19歳  
女子人口  
(千対)

## 10代の人工妊娠中絶実施率の推移

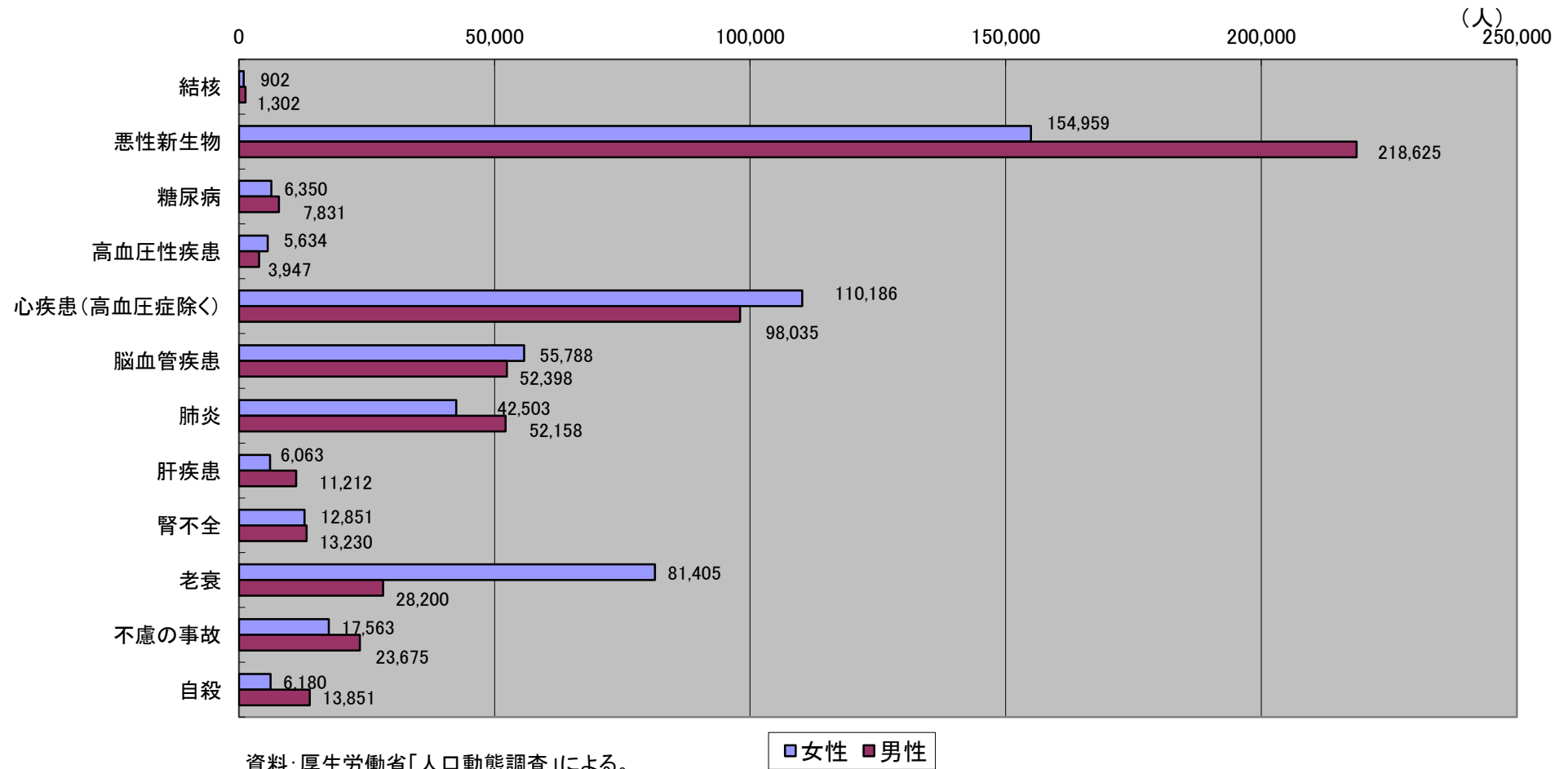
10代の人工妊娠中絶実施率は、全国、本県ともに減少傾向ではある。本県の10代の人工妊娠中絶率は、近年、全国に近い率で推移している。



資料：厚生労働省「衛生行政報告例」による。20歳未満(15歳未満含む)の人工妊娠中絶件数を15～19歳の女子人口で除して得た割合。

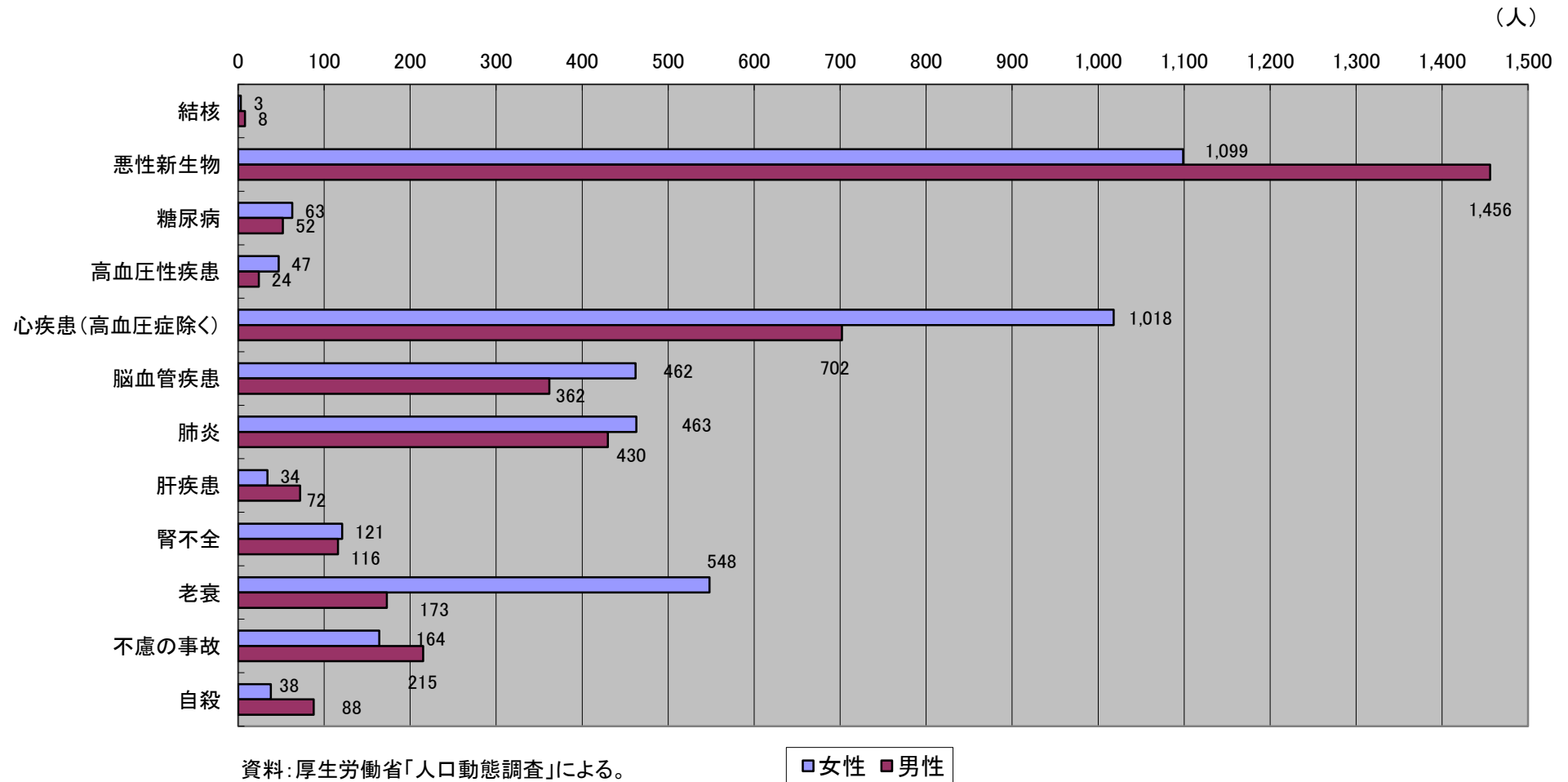
## 主要死因別死亡者数(全国:平成30年)

男女ともに悪性新生物を死因とする死亡者数が最も多く、次いで心疾患が多い。また、自殺者数は、男性が女性の2倍以上にのぼり、老衰は女性が男性の3倍近くになっている。



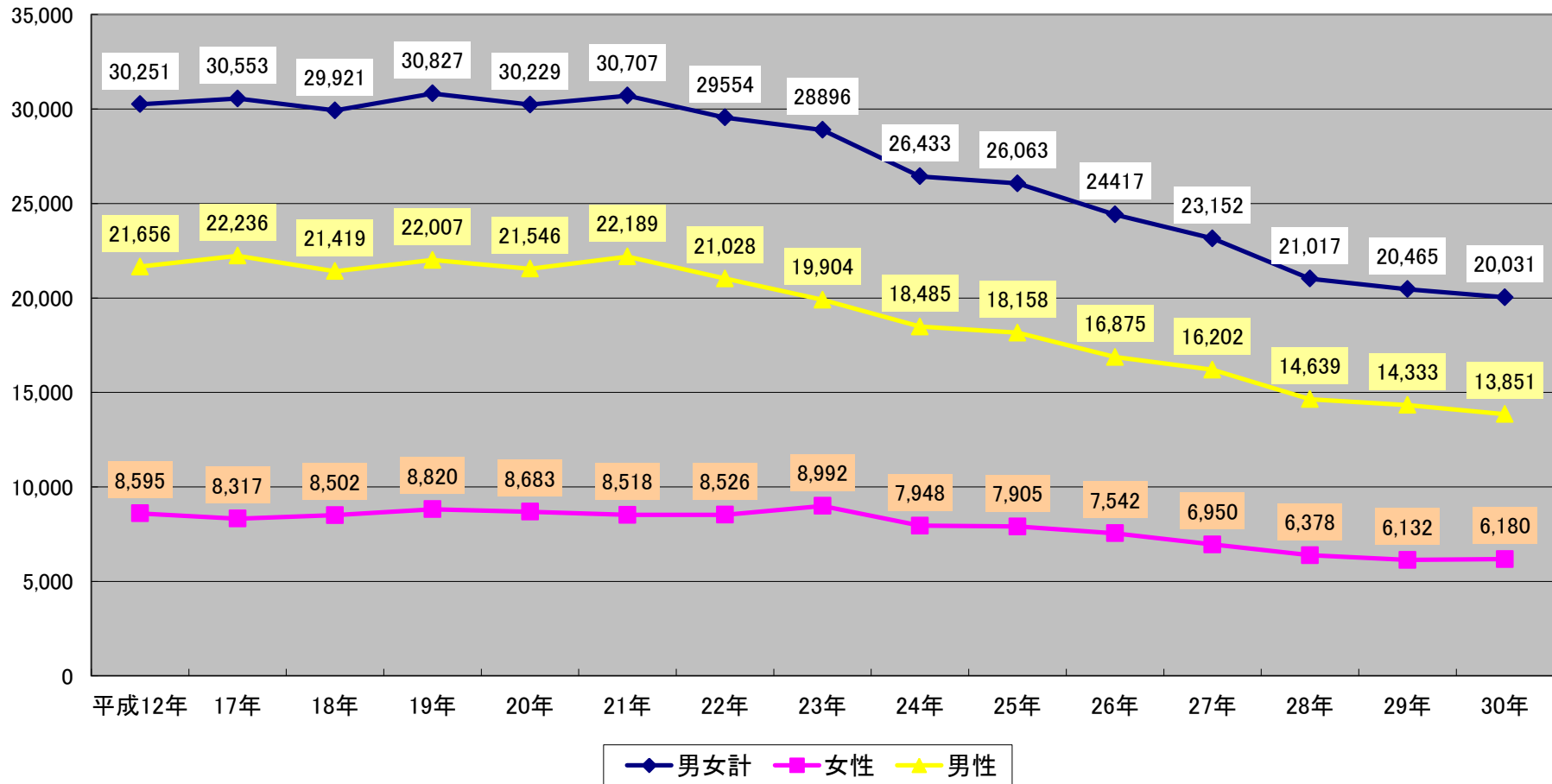
## 主要死因別死亡者数(高知県:平成30年)

男女ともに悪性新生物を死因とする死亡者数が最も多く、ついで心疾患となっている。男性は、その後に、肺炎、脳血管疾患、肺炎と続くが、女性は老衰が多く男性の3倍以上となっている。また、自殺者は男性が女性の約2倍である。



## 自殺者数の推移(全国)

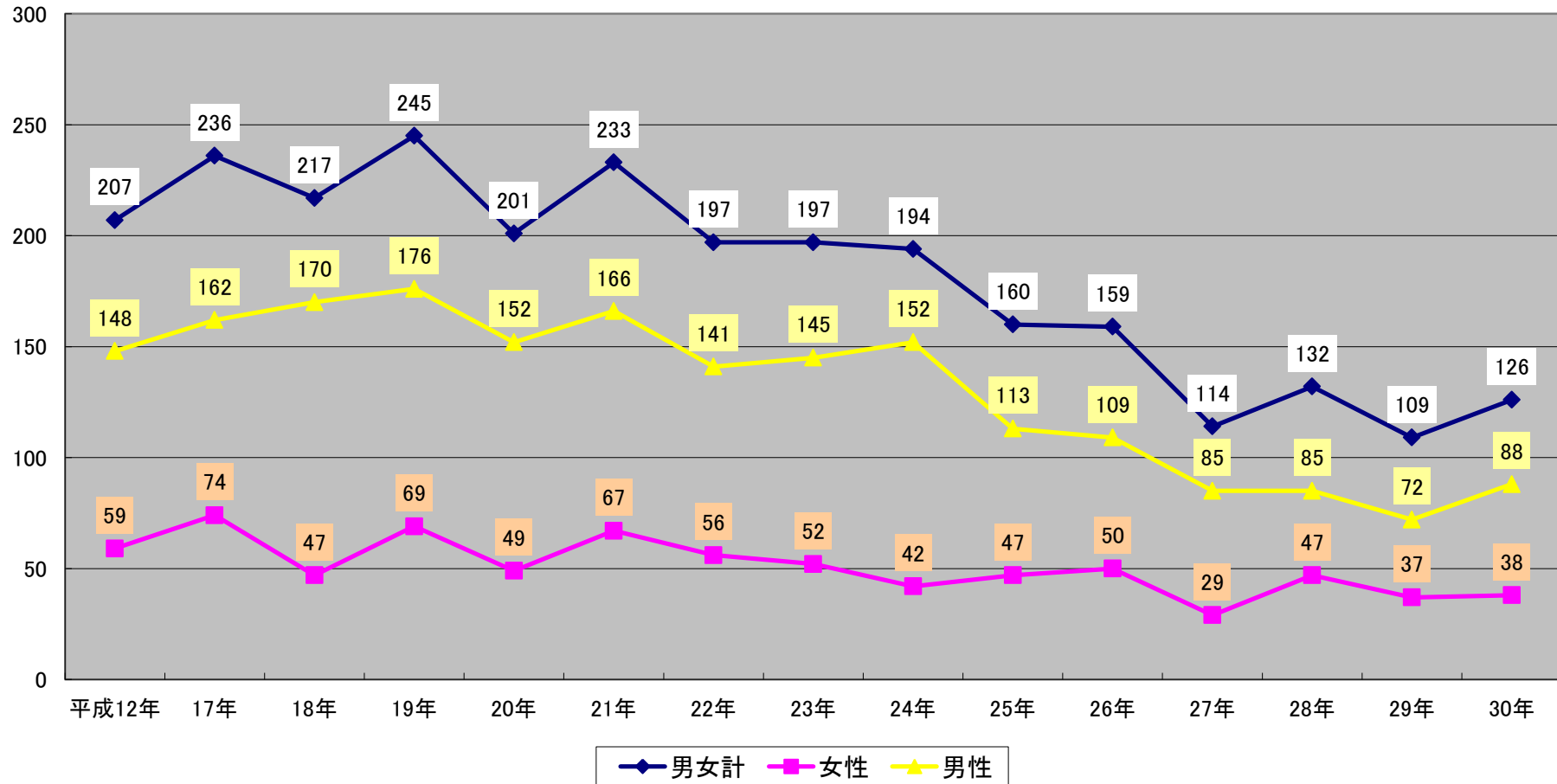
(人) 全国における自殺者数は、年々減少しているものの年間2万人を超えている。特に、男性の自殺者数は女性の自殺者数の2倍以上にのぼる。



資料：厚生労働省「人口動態統計」による。

## 自殺者数の推移(高知県)

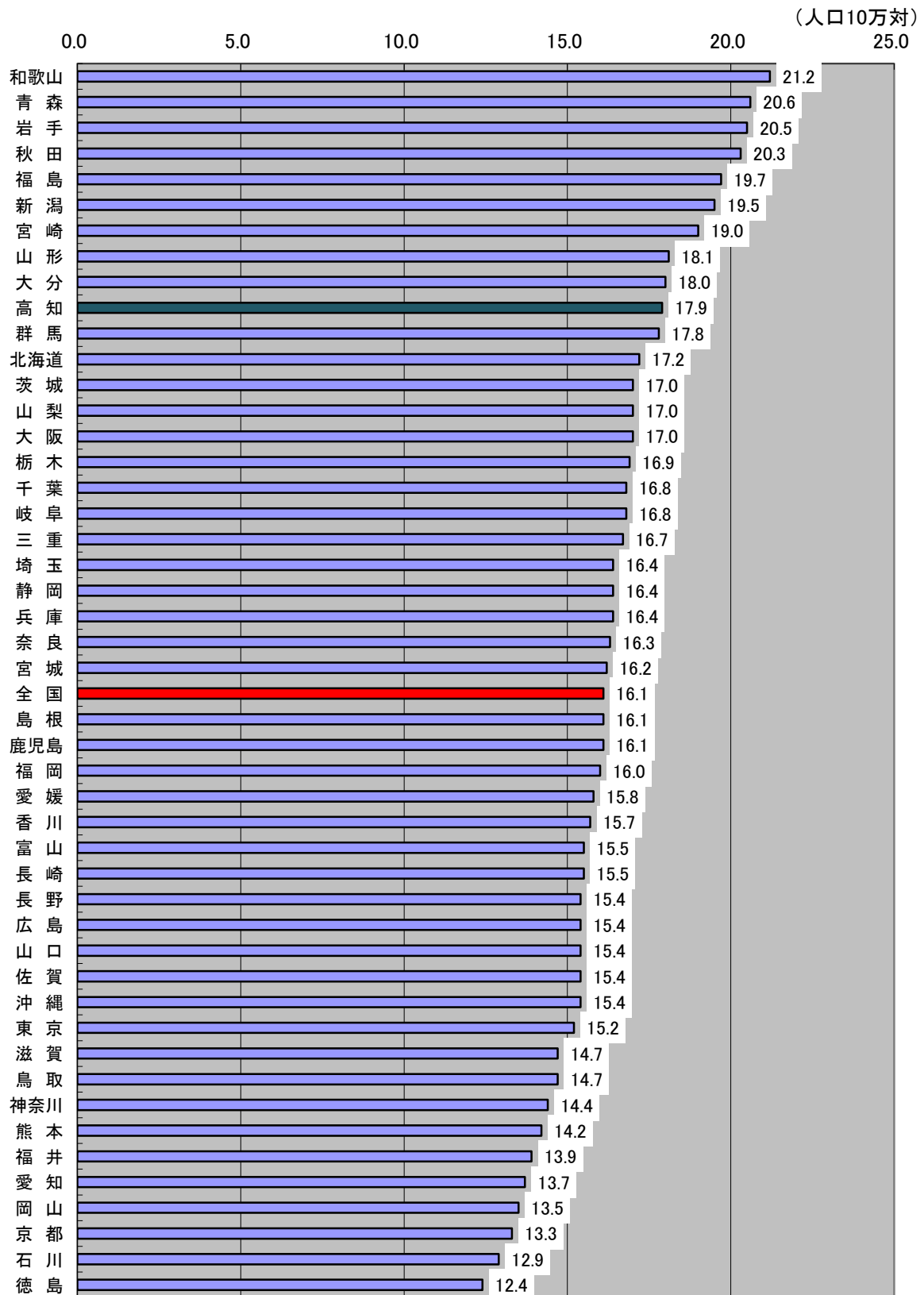
(人) 本県における自殺者数は、平成22年から200人を切ったが、依然として男性の自殺者数は女性の2倍近くにのぼる。



資料: 厚生労働省「人口動態統計」による。

## 都道府県別自殺率(平成30年)

本県の自殺率は17.9で、全国では10番目である。



資料:厚生労働省「人口動態統計」による。